


## 京都市教育長賞 / 最優秀賞

|  |   |
|--|---|
| <b>受賞者ニックネーム:</b><br>そうしくん (京都市伏見区在住 小学2年生)  |  |
| <b>作品名:</b><br>『温暖化から地球を救え!』   |   |
| <b>作品概要:</b> <p>この作品は温暖化から地球を救うゲームでシーン1～5で作られている。</p> <p>シーン1では、車が排気ガスを出して走り、大気が汚されて地球が悲鳴をあげている様子。</p> <p>シーン2では、夜の街で電気が沢山使われて、地球が叫び炎に変わる様子で地球温暖化を表現している。</p> <p>シーン3では、地球を救うためのシューティングゲームで、電気をよけながら排気ガスをうち消す。</p> <p>シーン4 (HP マイナスでゲームオーバー画面) では地球を救えず、木々が枯れ、地球が泣いている様子。</p> <p>シーン5 (ポイント 2000 でクリアー画面) では、→別添②炎が元気な地球に戻り、人々が歩き平和な様子を表現。</p> |   |
| <b>この作品の遊び方 :</b> <p>シーン1. 2. 4. 5は視聴のみ。シーン2の最後にAボタンを押すとゲーム画面(シーン3)になり、マウスで「そうし号」を動かしながらスペースキーを押して排気ガスをうつ。「そうし号」が電気に当たるとHPが-5ずつへり、HPがマイナスになるとゲームオーバーで地球を救えない。排気ガスを打って2000点までいくとクリアーし地球を救うことができる。</p>   |   |
| <b>工夫したところ :</b> <p>排気ガスをもくもくと出す所(シーン1)<br/>車の走る様子と音を組み合わせる所(シーン1)<br/>電気をいろいろな所から角度をつけて出す所(シーン2)<br/>そうし号を自分で描き、ビームがでる所(シーン3)<br/>地球が一気に炎に変わり(シーン2)、<br/>炎が消えて地球が戻る様子(シーン5)<br/>犬と人を首輪でつなぐ所(シーン5)<br/>音をつけた所(全シーン)</p>  |   |
| <b>この作品を作ろうと思った動機 :</b> <p>夏休みに大気汚染の本を読んだり、異常気象のニュースを見て、地球が危ないことを知った。地球温暖化の研究をして、どうしたら温暖化をストップできるかを知り、それをスクラッチで表してみようと思った。</p> <p>ゲームはみんなが楽しめるシューティングゲームが作りたかった。</p> <p>この作品で沢山の人が地球を守る気持ちをもってくれたらいいなと思う</p>   |   |

**この作品で一番見て欲しい部分は！：**

ゲームクリアをすると炎が消えて地球が戻り、地球が嬉しそうに笑っている所。車ではなく人や動物が楽しそうに歩き平和な様子。

**審査員の先生のコメント：**

環境問題という難しいテーマに取り組んで、物語性もあり温暖化の問題を上手く伝えていきますね。最後に地球がにっこり、いいですね。プログラミングのレベルも高く全体としてかなり大きな作品になっていて力作だと思いますが、そのぶん難しくなっているかもしれません。ゲームのルールを説明すると、最初からみんな楽しんでゲームをしてくれると思います。また、温暖化のテーマ設定は面白いが、シューティングゲームとの関係がもっと強ければ、なお良い作品になると思います。